

# 平成26年度 決算報告

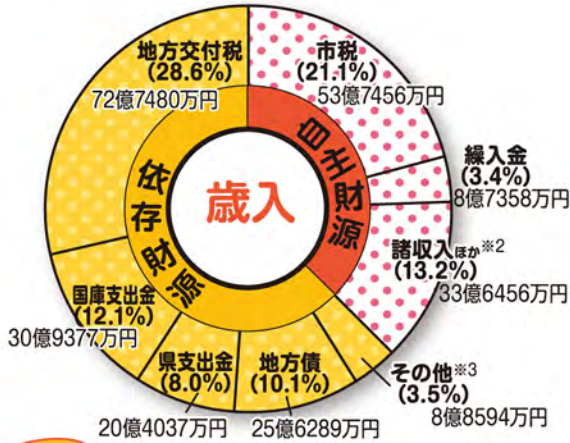
# 決算

## 01 一般会計決算

一般会計とは、皆さんからの税金などを財源として、福祉、教育、まちづくりなど市の基本的な行政運営を行う会計です。

**歳入総額 254億7047万円**  
(市民一人当たり約51万円) ※1

自主財源・・・市が独自に徴収することができるお金  
依存財源・・・国や県などから入ってくるお金



**ポイント**

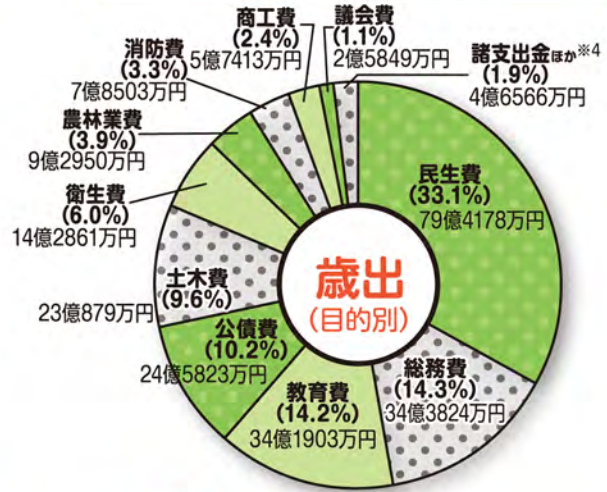
一般会計歳入総額は254億7047万円となり、前年度と比較して3億2627万円(1.3%)の減となりました。

消費税率の引き上げに伴い地方消費税交付金は増加しましたが、補助事業の減少に伴い国庫支出金などが減少しました。

- ※1 市民一人当たりの金額は、平成27年1月1日現在の住民基本台帳人口50,359人で算出しています。
- ※2 「諸収入ほか」は、諸収入、繰越金、寄附金、財産収入、分担金・負担金、使用料・手数料の合計
- ※3 「その他」は、地方譲不税と地方消費税交付金などの各種交付金の合計



**歳出総額 240億749万円**  
(市民一人当たり約48万円)



**ポイント**

一般会計歳出総額は240億749万円となり、前年度と比較して7億297万円(2.8%)の減となりました。

◎歳出の1位は民生費

歳出を目的別に見ると福祉関係の費用である民生費が全体の約3分の1(33.1%)を占めています。社会保障費の増大に伴って、今後も増加していく見込みです。

※4「諸支出金ほか」は、諸支出金、災害復旧費、労働費の合計

## 02 特別会計決算

料金収入などにより特定の事業を行う場合に経理を明確に区分するため、一般会計とは別に7つの特別会計を設けています。

会計区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険	64億885万円	71億7510万円	△7億6625万円
後期高齢者医療	5億8434万円	5億8226万円	208万円
下水道事業	12億6356万円	12億4967万円	1389万円
土地区画整理事業	5億329万円	4億9959万円	370万円
競輪事業	122億5887万円	118億7721万円	3億8166万円
給湯事業	4640万円	4587万円	53万円
新工業団地整備事業	21億5196万円	21億4592万円	604万円

**ポイント**

国民健康保険特別会計は△7億6625円の赤字となっていますが、平成27年度の予算によって対応しています。運営状況は大変厳しいものになっています。

※平成26年度から、農業集落排水事業特別会計・公共下水道事業特別会計・戸別浄化槽事業特別会計の3会計を、下水道事業特別会計へ統合しています。